

## NPO法人 ラーバンマネジメントとは

Rural (田園) と Urban (都市) という2つの相反する言葉を合わせて造ったこの名前には、心安らく「いなか」であり、活発な「まち」でもあって欲しいという、私たちが鳥取に寄せる期待を表します。アンケート調査で住民の意見を伺ったり、地元の商店と一緒にアートイベントを催したりと様々な活動を行っていますが、その根本は鳥取市が「住み続けたいまち」であるように、ということに尽きます。みなさまのご理解・ご協力をお願いするとともに、一緒にまちづくりをしたい、という方をおまちしております。

## 湖山池の景観と保全

### NPO法人ラーバンマネジメント 理事長 加嶋 襄



NPO法人ラーバンマネジメントは、平成15年5月より活動を開始しました。発足以来大きな変動はなくメンバーは15人です。

当初は三つの部会（調査・緑化環境・溜まり場創造）に分かれて企画検討の場を持ちながら進めていました。調査部会が、事務所の在る遷喬地区の住民の皆様「誰もが住み続けたいような鳥取」をコンセプトに、まちづくりのアンケートを行い、同じ内容で日進と明德地区の住民の皆様にもご協力をいただきました。三地区に共通していた結果として、住民の方々は「まちづくり」について関心が高く、「何らかの形で住民がまちづくりに主体的にかかわっていかねばいけない」との回答が80%を超えていました。このアンケートの80%の数字が私たちを支える原点となり、住民が主体の「まちづくり」を幅広く捉え、粘り強く進める活動を現在も続けています。

今回、湖山池の景観について池の周辺地区の皆様にお聞きしながら、まとめたものを発表させていただき、また各地区と行政の方に様々な取り組みやお考えについて執筆をお願いし、この冊子となりました。

私共NPOの緑化環境部会のメンバーは3人ですが、活動の一環で湖山池周辺には歴史を確かめながら何度となく足を運び、山王さん周辺活性化協議会が主催する天神山城跡発掘の研究会への参加、お寺や神社を訪ねて建物や社叢の確認、時代と共に生き続ける巨樹や巨木等の観察や調査も続けています。

半世紀の間に湖山池の周辺は、住宅や工場も多く出来て景観が変わりました。湖山池は海とつながっており汽水ですが、千代川と大井手川の水系を池まで歩きながら点検もしました。しかし、湖山川からの塩分を緩和する程の水量は湖山池に流れ込んでいません。大昔、鮎釣りに船で島に渡る途中、水が透き通り澄んだ湖山池を見たことがありました。

近年、水質が大変悪いと聞き及んでいます。今こそ、市民の英知を結集し湖山池の水質浄化を計る時かも知れません。

中学生の頃、四季を通じてエビやフナやアマサギ釣りに自転車が出かけた事、車で運転中偶然、まるで鏡の明媚な湖面に出会った時の感動、つづらお城趾から酒盛りをした折、昇る円い月と湖上に浮かぶ一条の美しい光景等は私の中にある大切な湖山池の姿です。

いつも思うのは、気象関係のデータを整え、湖山池の素晴らしい景観に遭遇出来るチャンスを、こよなく湖山池を愛する市民の皆様へお知らせするようなシステムが出来ないかということです。

関係される各位のご指導をいただきながら、微力ながらも湖山池景観保全のお手伝いをこれからも続けて参る所存であります。

# 湖山池の景観を良くするための活動

## 活動報告

湖山池振興協議会 会長 池沢 知一



### 1. 発足の経過と下位の組織化

私達は、2004年6月湖山池の持つすばらしい自然景観を十分に発揮できる条件と制度を生かすため、ボランティア団体として湖山池振興協議会を旗揚げした次第です。

まずその理念とするところは、湖山池周辺の景観を生かした地域の活性化と「湖山池八景」を中心とした地域づくりをし、観光で年間数十万人のにぎわいのある「景観地区」をめざしています。次に湖山池周辺地域を「景観形成地域」として整備・保全をいたします。特に八景として、つづらを城跡、青島、天神山、お花畑、矢山長者台、松原高原、石がま景観、大学葦原の里、福井展望駐車場を交流地域づくりの場とします。この発足にあたって、これを組織化するため周辺の住民の方々の実態調査をはじめとして鳥取県、鳥取市、鳥取大学の先生・学生、周辺公民館長、自治連の湖南地区・松保地区・湖山地区・湖山西地区・末恒地区などの有志や区長会長、その他日々活動されている諸団体、ボランティアのご協力を得るため、会の組織化を相談させていただくための呼びかけをいたしました。2005年に入って鳥取大学霜田教授を中心に「湖山池振興協議会の会則」を作成しました。目的・事業・会員・役員・会議・会計（年会費）を定めました。周辺の皆様に会員になっていただくため公民館や区長会を通じて、景勝池「湖山池八景」づくりに参加しませんか？と会員募集を行いました。その結果発起者数人と募集会員30名で設立総会を開催することが出来ました。総会では部会制が決定になり、部会を広報宣伝・イベント・池八景総合・池八景高原部会・つづらを部会・青島部会・矢山長者台部会・天神山部会・ガイド部会の9つに分けました。各部会には部会長、副部会長が中心になり企画・立案をし、毎月行われる定例会に提出し、会員で協議しどの部分が重要か活動の順位を決めて取り組んで参りました。

### 2. スカイライン矢山長者台の活動

鳥取市三津に位置する矢山は海拔133mの森林地を有する（樹木はナラ類シイ）村有林と私有林地です。これの補修にあたっては地元の合議を得て三津地区の会員を中心として活動をしました。東西の遊歩道500mの道路整備・手すりの取付・頂上の広場整備・東部森林の協力で笹ころしの薬剤散布をはじめ大木の伐採を全員で行いました。何日か交代をしながら汗を流しました。頂上から眺める景観は、手近に大山、隠岐島、夜は漁り火と但馬あたりの夜景、まさしく「ダイヤモンドヘッド」として喜んだ次第です。また頂上には果樹の苗木（モモ・イチジク・サクランボなど）を植えました。現在実がなるようになってきました。また末恒小学校の児童が5年生を中心としてしいたけのイベントを行っています。頂上の充実にはまだまだ時間がかかります。

### 3. 松原高原と国・県・市に対する陳情

第二の重点地区として山陰道開通に伴って松原地区に展望駐車場を設置していただくよう、国土交通省、鳥取県、鳥取市長へ湖南地区区長会といっしょになって設計図を示し、陳情しているところです。

### 4. その他ポスター、四季報を地区に配布

2005年四季報を作成し、湖南地区に全戸配布、周辺公民館その他観光協会などにも持参しました。ポスターは公民館を中心に大学などにも持参しています。

### 5. 今後の活動

年齢的にも若い会員が少なくなり、増員のため努力しています。計画的には何分労力がいるので会員の募集に力を入れ、市の方にも池の周辺（特に八景）の看板を上げていただくようお願いをしています。またつづらを城跡を重点に「オシドリ」がやってきますが数が増えていくよう水場の整備なども考えています。